

西穂高岳山行報告

令和7年〔2025年〕2月28日～3月1日 北アルプス 西穂高岳

参加者：中野正大・白尾賢子・河村志野・岡村繁雄

行程：28日 JR 小倉駅 6:18 発 → JR 新大阪駅乗換 → JR 岐阜羽島駅 9:51 着

→ レンタカーで新穂高第2駐車場 13:30 着 ⇒ 新穂高温泉駅 14:00 発 ロープウェイ乗換

西穂高口駅 14:40 発 ⇒ 西穂山荘 15:50 着

1日 西穂山荘 5:50 発 ⇒ 西穂高岳 8:55 着 9:12 発 ⇒ 西穂山荘 11:36 着 12:05 発

⇒ 西穂高口駅 13:00 着〔行動時間7時間10分〕

〔西穂山荘より西穂高岳 往復 約5時間40分〕

当初の予定では、28日出発で2日に西穂高岳を目指す予定を立てていたが、2日の天候が不安定となったため予定を急きょ変更し、1日に西穂高岳を目指すことにした。

28日 JR 小倉駅を朝一の新幹線で出発、JR 岐阜羽島駅前でレンタカーを借りて移動。新穂高ロープウェイで上がり、西穂山荘 15:50 到着

1日 夜明け前に出発。朝方は多少風があったものの天気予報通り好天で、下山するころには快晴無風のまるで春山。



新穂高ロープウェイ乗り場



樹林帯を西穂山荘へ



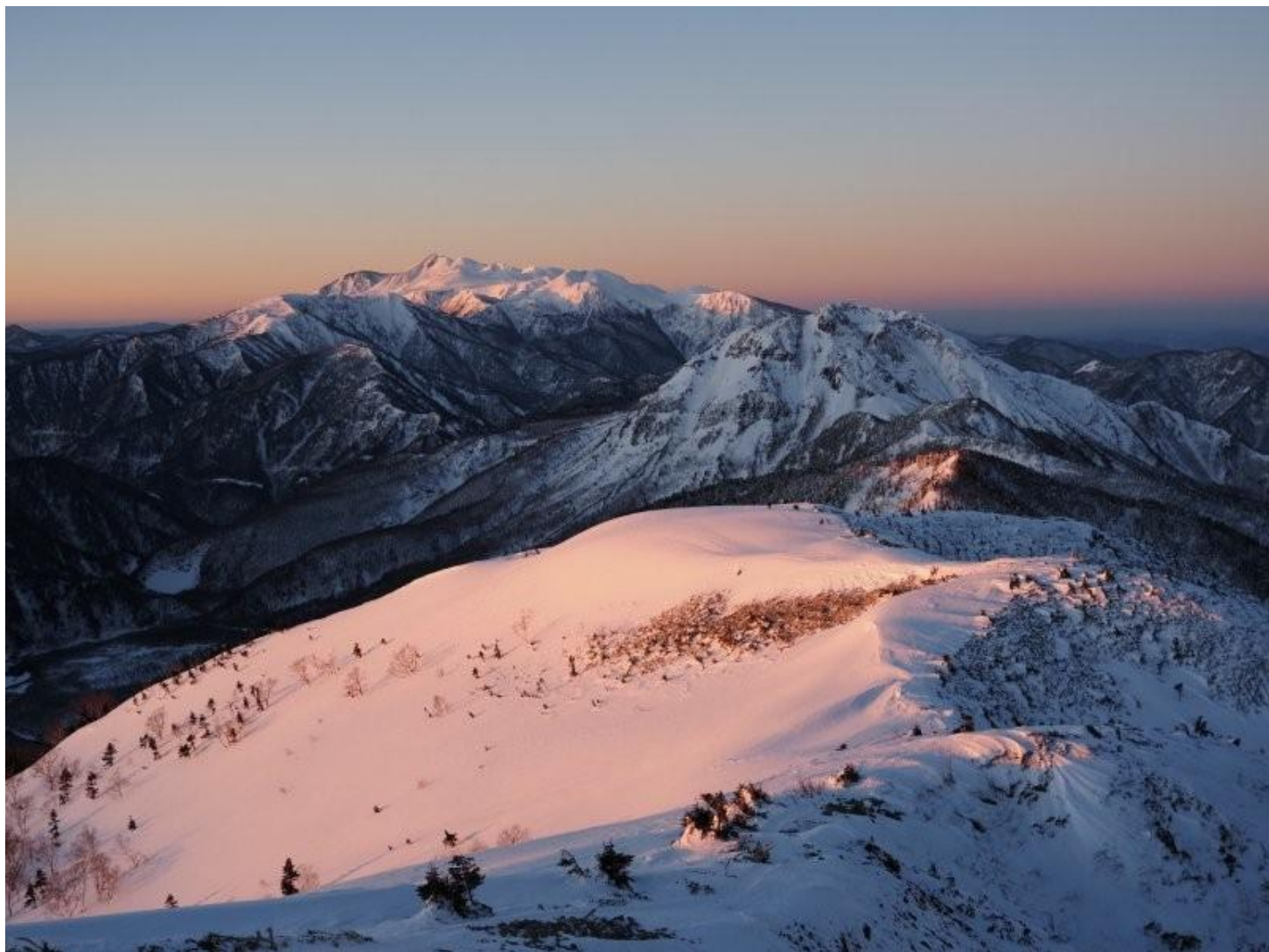
西穂山荘でくつろぐ



西穂山荘前のテント場



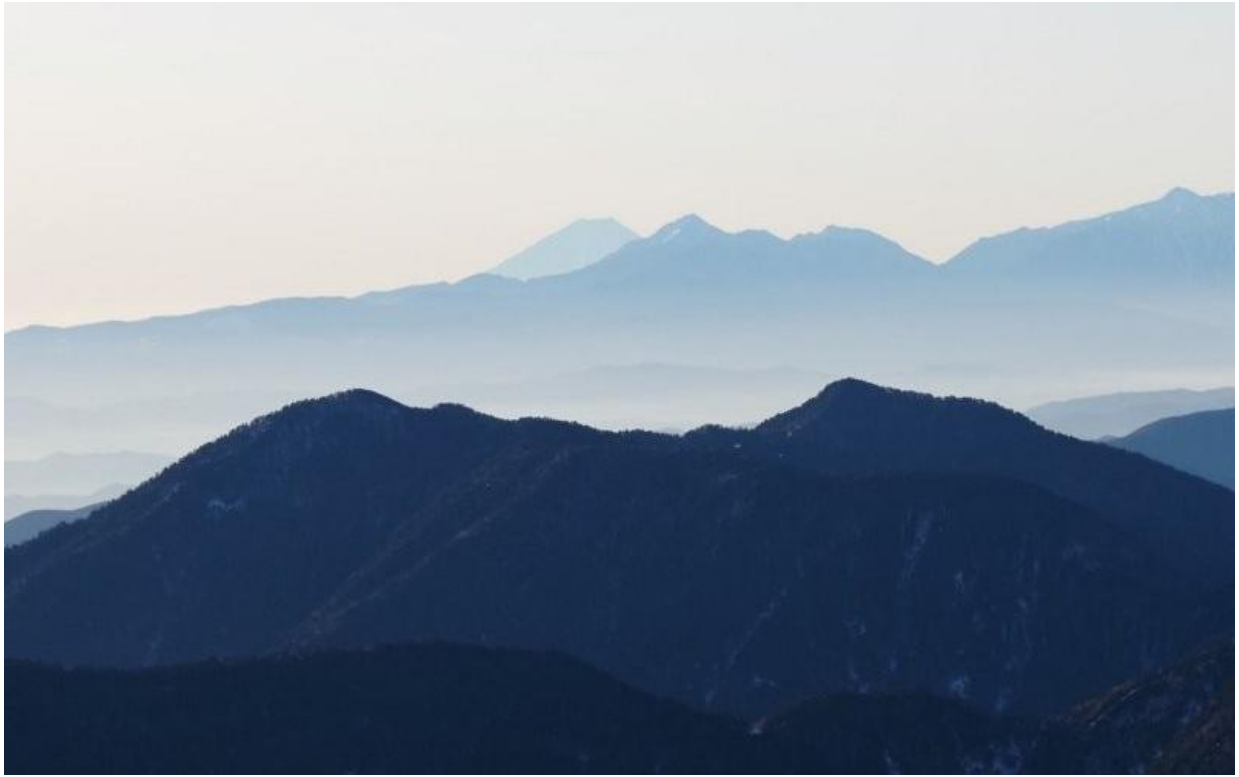
出発後 西穂山荘を望む



中央右 丸山〔後方 焼岳 乗鞍岳〕



中央 西穂独標



南アルプスと富士山〔望遠〕



中央アルプス〔望遠〕



西穂独標にて





西穂独標を下降



西穂独標を振り返る





西穂高岳（2,909m）山頂〔右後方 笠ヶ岳〕

雪の状態もよく、素晴らしい周辺の山々を望みながら西穂高岳山頂に到着。
3月初旬とは思われない、快晴無風の快適な山頂であった。



西穂高岳山頂より槍ヶ岳の穂先を望む〔望遠〕



西穂高岳 山頂直下の雪壁を下降





下山時 前方ピラミッドピーク



下山時 岩稜を下降



下山時 前方御嶽山〔望遠〕



下山時 西穂高岳方面を振り返る



西穂山莊前にて



登山ルート〔国土地理院地図より〕

西穂山荘（2,367m）と西穂高岳（2,909m）の標高差 562mである。

途中独標から先に複数のピークがあり、その岩稜の登り降りが気象条件により難易度がかなり変わるが、今回最高のコンディションであったため、好天の春山を登っている感じであった。

北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura Photo presented by S.Nakano・S.Okamura